

研究課題名	<p>脳神経障害を伴った急性 A 型大動脈解離の現状と治療成績</p> <p>富山大学および神戸大学関連心臓血管外科施設における多施設共同研究</p>
当センターの研究責任者	心臓血管外科 村上 博久
研究目的	<p>急性大動脈解離の年間発生頻度は、3-10/10 万人と報告されているが、主に欧米諸国を中心に多施設共同レジストリーを作成し研究がなされてきた。国際間の多施設共同レジストリーでは IRAD (International Registry of Acute Aortic Dissection), ヨーロッパでは GERAADA (German Registry for Acute Type A Aortic Dissection)が知られている。本邦では、JRAD(Japanese Registry of Acute Dissection,ATS 2020)があるが、前 2 者と比較して規模や発表論文数は少なく、欧米のレジストリーデータから得られた知見をそのまま本邦の治療に当てはめることは難しいと思われる。今回の研究では、西日本各地の心臓血管外科施設（富山大学医学部附属病院と神戸大学医学部附属病院、及び関連施設）の手術データを共有し、多施設共同データベースを作成、解析する。方法は 2019 年 1 月 1 日以降に該当施設で急性 A 型大動脈解離手術症例を対象（後向き+前向き研究）とし、手術前に脳神経障害を伴った場合と、伴わない場合との違いについて解析を行う。さらに現在の臨床における問題点を明らかにし、今後の治療成績改善に役立つ研究を実施することとした。</p>
利用する情報	<p>■対象</p> <p>2019 年 1 月 1 日以降に姫路循環器病センター、はりま姫路総合医療センターにおいて手術介入が行われた急性 A 型大動脈解離症例の患者さん</p> <p>■利用情報の内容</p> <p>電子カルテ及びレセプトに記載されている診療記録（性別、年齢、身長、体重、手術データに関するもの（手術時間や輸血量など）、手術後のデータに関するもの（集中治療室の滞在期間、入院期間、外来経過など））</p> <p>■利用情報の該当期間</p> <p>2019 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日</p>

利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	有（富山大学学術研究部医学系外科学講座、神戸大学大学院外科学講座 および それらの関連施設 9 施設）
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	なし
お問い合わせ先	担当者名：心臓血管外科 村上 博久 電話番号：079-289-5080
備考	<p>研究機関一覧</p> <p>富山大学附属病院呼吸・循環・総合外科 芳村直樹</p> <p>神戸大学附属病院心臓血管外科 岡田健次</p> <p>国立循環器病研究センター心臓血管外科 松田 均</p> <p>兵庫県立はりま姫路総合医療センター心臓血管外科 村上博久</p> <p>富山県立中央病院心臓血管外科 上田哲之</p> <p>北播磨総合医療センター心臓血管外科 森本喜久</p> <p>神戸赤十字病院心臓血管外科 泉 聡</p> <p>大阪府済生会中津病院心臓血管外科 中桐啓太郎</p> <p>加古川中央市民病院心臓血管外科 脇山英丘</p>